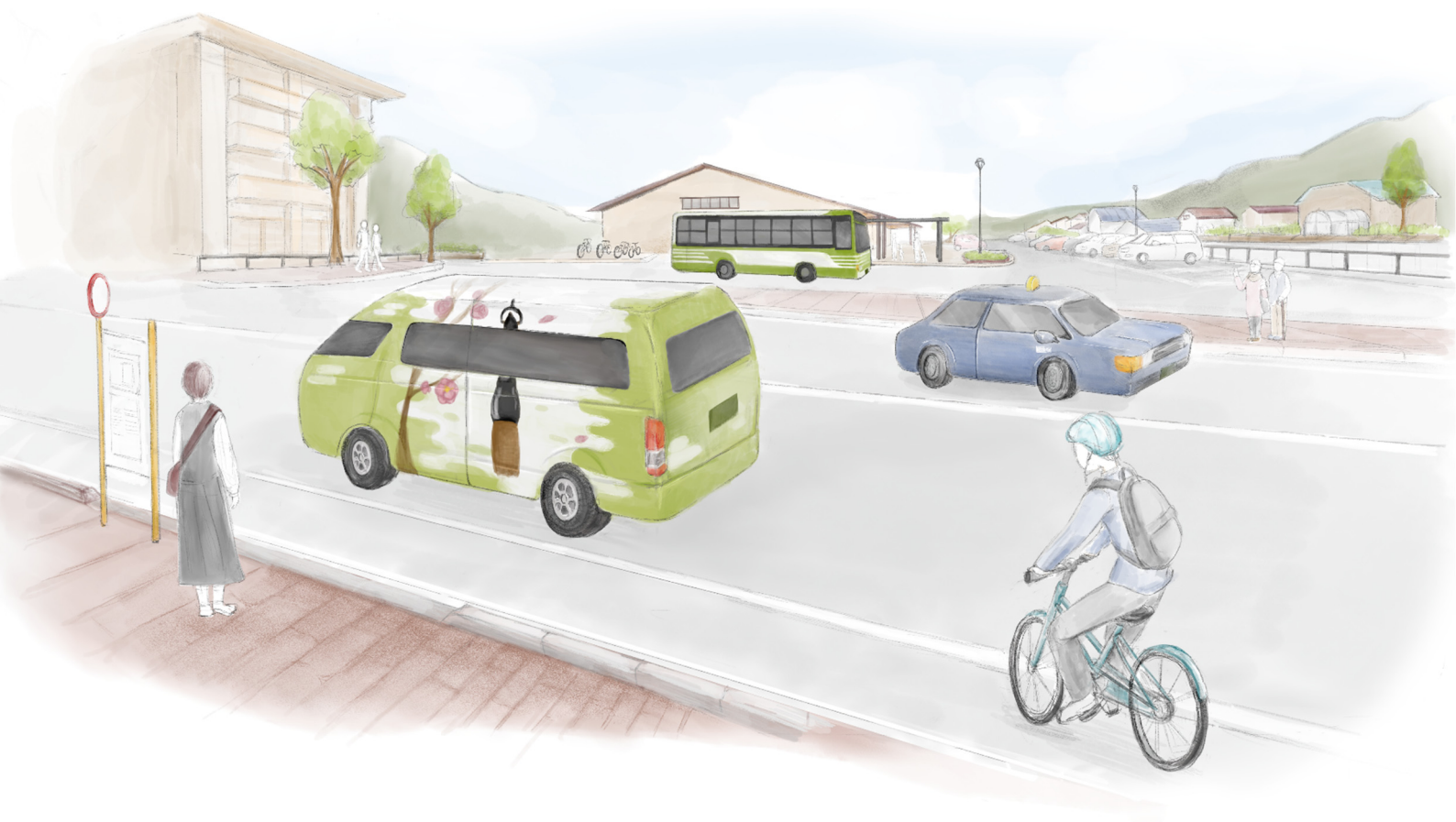


熊野町地域公共交通計画



令和6年3月

基本理念

住むまち・住み続けるまちに選ばれる 魅力と価値を高める公共交通

本町では、昭和40年代の県営熊野団地の造成を契機として、広島市をはじめとする周辺市町のベッドタウンとしての役割を担い、年々人口が増えることで、バスなどの公共交通は住民の移動を支える重要な乗り物として利用されてきました。



しかし、平成12年の2,54万人を境に人口が減少に転じたことや、平成30年7月豪雨災害、新型コロナウイルス感染症などの影響による利用者の減少、また、燃料高騰や運転士不足など、公共交通を取巻く環境の変化により、これまでの様な公共交通体系の維持は困難な状況を迎えています。

今後も公共交通の利用者が減少し続けると、公共交通の維持が難しくなり、通勤・通学や日常生活の移動が不便になることなどが懸念されます。こうした状況を踏まえ、本町における持続可能な公共交通ネットワークを形成するためのマスタープランとなる「熊野町地域公共交通計画」（計画期間：令和6年度～令和12年度）を策定しました。

本町の住民生活や経済活動を支える公共交通を維持・確保するためには社会情勢や公共交通を取巻く環境の変化に対応し、本町の特性を踏まえ、まちづくりと連携して進める必要があります。

この計画を基に、持続可能な公共交通の実現のために、町全体の生活利便性の向上につながる公共交通の充実を図り、事業者や住民と連携しながら「住むまち・住み続けるまちに選ばれる魅力と価値を高める公共交通」となるよう取り組んでまいります。

最後に、この計画の策定にあたり、アンケート調査などにご協力いただいた町民の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきました熊野町地域公共交通活性化協議会の皆様に対しまして心から感謝申し上げます。

令和6年3月

熊野町長 三村 裕史

< 目 次 >

1. はじめに	1
1-1 背景と目的	1
1-2 計画の位置づけ	2
1-3 計画の対象地域	2
1-4 計画の期間	2
1-5 公共交通に取組む理由	3
2. 公共交通を取り巻く現状と課題	7
2-1 地域の状況（人口分布）	7
2-2 生活に係る移動の状況	10
2-3 公共交通の状況	14
2-4 公共交通の課題	27
3. 目標・基本理念・基本方針	29
3-1 計画の目標	29
3-2 基本理念・基本方針	30
3-3 公共交通が果たす役割の将来像	31
4. 将来像に向けた事業	33
4-1 施策の方向性	33
4-2 施策体系	34
4-3 取組方針	35
4-4 主要事業	36
4-5 具体施策（事業内容）	40
4-6 事業スケジュール	47
5. 評価指標と目標値	49
6. 計画の実現に向けて	53
6-1 進捗管理	53
6-2 推進体制	53
6-3 計画の達成に向けた継続的な改善に向けて	55

附属資料

1. 熊野町地域公共交通計画の策定経緯.....	57
2. 熊野町地域公共交通活性化協議会	59
3. 熊野町の公共交通に関するアンケート調査	61
3-1 アンケート調査票.....	61
3-2 アンケート調査結果.....	65